

# 第6学年 国語科学習指導案

児童 1組男子17名女子19名計36名  
指導者 佐々木 哲

- 1 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう  
教材名 「平和のとりでを築く」 (光村図書 6年下)  
「自分の考えを発信しよう」

## 2 単元の構成

### (1) 教材について

本教材は、小学校第5学年及び第6学年の「C読むこと」の内容(1)イ「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」エ「書かれている内容について事象と感想、意見の関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むこと」を受け、「文章の要旨を正しく読み取り、自分の考えをもつ」ことを目標としている。さらに次の教材では、本教材での読み取りを踏まえ、「平和」についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった自分の考えを分かりやすく組み立ててまとめ、発信することをねらいとしている。

本教材は、四つの意味段落に分けられ、最後に筆者の考えをまとめる構成となっている。また、原爆ドームの叙述が「建造物」→「世界遺産」→「記念碑」→「世界の遺産」と変化していることや文末表現に着目することが、筆者の考えを読み取る手立てともなる。

このことから本教材は、筆者の考えを読み取り、「平和」について調べ、自分の考えをまとめ、発信していく活動に適した教材であると考えられる。また、これまでの学習で身につけてきた国語の能力を活用する学習活動も展開され、説明文学習の総まとめの単元であるとも言える。

### (2) 児童について

6月に行った国語の意識アンケートの結果は次の通りである。

- |  |     |
|--|-----|
| ① 国語の勉強は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) . . . . .  | 44% |
| ② 説明文の学習は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) . . . . . | 52% |
| ③ 説明文の学習で、自力で課題の答えを見つけられますか. . . . .     | 66% |
| (「見つけることが多い」も含む)                         |     |
| ④ 読書は好きですか。(「どちらかといえば」も含む) . . . . .     | 83% |
| ⑤ 自分の考えを公表できますか。(「できるほう」も含む) . . . . .   | 44% |

自分で課題に対する答えを見つけることができる児童が半数以上いるが、それを発表できるかとなると少なくなってしまうことが分かる。発言力の強い児童の発言が学級全体に大きく影響している。考えはもっていても自信がなかったり、発言すると何か言われることを心配したりして、消極的になっている児童が数名いる。また、丁寧に書くことや、自分の考えを書くことを面倒がる児童がおり、書く内容を明確にしたり、今までの学習の中からヒントを与えたりして自信をもたせながら学習を進めることが必要と考える。

児童は、「生き物はつながりの中で」(説明文)で文章構成から要旨をまとめ、筆者の考えをふまえて、それに対する自分の考えをまとめる学習をしてきた。また、「みんなで生きる町」では、ユニバーサルデザインの視点から意見を発信する学習をしてきた。自分の考えを述べるができる児童が、少しずつ増えてきている。しかし、意見がぶつかり合ったり、練り合ったりという場面が生まれる回数は多くない。筆者の考えを読み取りながら、自分はそのことをどう考えるか、自分たち自身の問題であるという気持ちをもたせる工夫をしながら、読み進めていきたい。その気持ちもしっかりもたせることで、平和について調べる活動や考えをまとめて発信する活動に意欲的に取り組めるものと考えられる。

### (3) 指導にあたって

第1次の「つかむ」段階で、前半の説明文から筆者の考えを読み取り、読み取った筆者の考えに対する自分の考えをもち、情報を集め、まとめて自分の考えを発信するという学

習の流れをしっかりと押さえたい。重要語句などを読み取りの時にとらえやすいように掲示して残しておく。

「ふかめる」「まとめる」段階では、仮説1の「板書構成の工夫」として、まとめの形を示し、解決の手がかりをもとにまとめのイメージがもてるようにする。また、「一人学び」を支えるために、題名、キーワード、文末表現等に注意して読み取ったり、時を表す言葉や出来事に注意して年表を作ったりできるように手がかりを板書に示していく。また、少人数で話し合いをする時間を設定することで、自信をもち発表できるようにしていきたい。仮説2の「学び合い」を成立させるために、「一人学び」で読み取ったことをもとに、新たな気づきや考えを交流し、より確かな読みへとつなげていきたい。また児童の読みの疑問を大切に、筆者の考えを読み取る切り口としたい。仮説3の「評価の積み重ね」として、筆者が伝えたい事実や考えに対しての自分の考えを書く活動を自己評価の中に取り入れ、児童の気づきや考えのよさを示していくことで次の学習への意欲付けになっていくものと考ええる。

「ひろげる」段階では、読み取ったことに対する自分の考えを交流する場とし、読みをより確かなものにしていく。

第2次の「つかむ」段階では、第1次の「ふかめる」「まとめる」段階で学習した筆者の伝えたいことをもとに戦争や平和についてさらに考えをまとめ、発信するという学習の流れを確認し、見通しをもたせていく。また、発信の相手を親や地域の人とし、意欲を高めていきたい。

「ふかめる」段階では、児童の発信する課題が具体的になるように助言し、活用できそうな図書資料やインターネットのホームページを把握しておき、児童に紹介できるようにしておく。また、まとまりごとに見出しをつけ、効果的な組み立てを考えさせながら、自分の意見文をまとめさせたい。

「まとめる」段階では、「インターネットと学習」を読んで内容を確認した後、友達同士で感想やアドバイスを交流していく。意見文の構成の工夫や考えを伝えるための資料・事例の使い方など観点をもたせて、自分の意見文を読んだり友達の意見文を聞いたりしていく。学級全体で高まった平和の思いを親や地域の人に伝える一つ的手段として、学習発表会での学年発表につなげていく。

### 3 単元の目標

- ◎ 筆者が訴えたいことを読み取り、それについて自分の考えをもつ。
- ◎ 平和についてさらに考えるために調べたり話し合ったりし、深まった考えを分かりやすく組み立てて書いて交流する。

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・筆者の考えを受けて自分なりの考えをもち、「平和」について関心をもって読んだり話し合ったりあったりしようとする。

〈読む能力〉

- ・文章の内容を的確におさえながら要旨をとらえ、自分の考えを明確にしながらか読むことができる。〔イ〕〔エ〕
- ・テーマに即して本を選び、自分の考えをまとめるために読むことができる。〔ア〕〔オ〕

〈書く能力〉

- ・事実と意見を区別して書いたり、対立する意見を取り上げて反論を述べたりすることができる。〔エ〕
- ・「仮の要旨」から「確定した要旨」への過程で必要な材料を選び直すことができる。〔イ〕
- ・自分の考えを明確に表現するために、効果的な文章の組み立てを考えることができる。〔ウ〕

〈言語についての知識・理解・技能〉

- ・文末表現に着目し、段落相互の関係や筆者の思いを理解することができる。オ〔ア〕
- ・漢字や言葉の意味・使い方を理解することができる。ア〔ア〕

4 単元の指導計画と評価規準（全14時間 読むこと8時間 書くこと6時間）

第1次 「平和のとりでを築く」（7時間）

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への 関心・意欲・態度	読む能力・書く能力	言語についての 知識・理解・技能
つかむ	1	○全文を通読し、内容の大体をつかむ。 ・全文を読み、感想を書く。	・題名に関心をもち、進んで段落のつながりを考えて読み取るうとしている。 〈発言・ノート・態度〉	・全文を読み、感想をまとめている。(分かったこと、疑問等) 〈発言・ノート〉	・新出漢字や語句について正しく理解している。 〈発言・ノート〉
	2	○学習計画を立て、学習の見通しをもつ。 ・学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ・文章構成の大体をつかむ。 ・接続語や文末表現、重要語句の確認をする。	・初発の感想をもとに話し合い、学習のめあてをもとうとしている。 〈発言・ノート・態度〉	・文章構成の大体を把握し、意味段落ごとの課題を設定し学習の見通しをとらえている。 〈発言・ノート〉	・簡単な文章構成を理解している。 〈発言・ノート〉
ふかめる・まとめる	3	○筆者の思いの対象が「原爆ドーム」であり、それを中心に説明文が展開することを読み取る。 (①段落)	・課題にあった事象を見つけ、要点をまとめようとしている。 〈態度・発言〉 ↓	・筆者が原爆ドームをどういう思いでみているのかを読み取っている。 〈発言・ノート〉	・文のつながり方や重要語句に気をつけて読んでいる。 〈発言・ノート〉
	4	○「原爆ドーム」がたどった歴史と保存運動について読み取る。 (②～⑧段落)		・原爆ドーム投下前後を比較して原爆の威力を読み取っている。 ・「原爆ドーム」を保存するに至った経緯を人々の願いと関係付けながら読み取っている。 〈発言・ノート〉	「とりで」 「築く」 「思わずにはいられなかった」 「建造物」 「～という」 「原爆ドーム」 「議論」 「世界遺産」
	5	○「原爆ドーム」が世界遺産になるまでの経緯を読み取る。 ・世界遺産の制度と、それに登録された意義を読み取る。(⑨～⑪段落)		・「原爆ドーム」が世界遺産に登録された背景にある世界の人々の平和への願いを読み取っている。〈発言・ノート〉	「記念碑」 「～なのである」 「世界の遺産」 「～なのだ」
	6 本時	○筆者の考えを読み取り、伝えたいことをまとめる。 (⑫⑬段落)		・筆者の考えを読み取り、根拠となる段落とのつながりを確かめている。〈発言・ノート〉	
ひろげる	7	○筆者の伝えたいことをもとに平和について自分の考えをもつ。	・筆者の主張をメッセージとして受け取り、自分の意見を述べようとしている。 〈態度・発言・ノート〉	・要旨を受けて、それに対する自分の考えをまとめている。〈発言・ノート〉	・文章構成を工夫して表現している。

第2次 「自分の考えを発信しよう」(7時間)

段階	時	主な活動内容	評価規準〈評価方法〉		
			国語への 関心・意欲・態度	読む能力・書く能力	言語についての 知識・理解・技能
つかむ	8	○筆者の伝えたいことをもとに平和について考え話し合い、調べることを具体化する。	・自分の伝えたいテーマを進んで考え、学習の見通しをもととしている。〈発言・態度〉	・教材文を読み、自分の伝えたいテーマを決めている。〈ノート〉	・新出漢字や語句について正しく理解している。〈発言・ノート〉
ひろげる	9 ・ 10	○仮の要旨を作り、それに説得力をもたせる材料を集める。	・いろいろな方法で必要な情報を調べようとしている。〈態度・収集資料〉	・必要な情報を集めている。〈収集資料・発言〉	・必要な語句について辞書などで調べている。〈ノート〉
	11	○集めた材料をもとに確定した要旨にまとめ直す。	・自分の考えが伝わりやすい文章を進んで書こうとしている。〈発言・態度〉	・事実と意見を区別して自分の考えが伝わりやすい文章を書いている。〈意見文〉	・文章構成を工夫して表現している。〈意見文〉
	12 ・ 13	○自分の考えを書きまとめ、推敲し、発信する。	・発信することを考慮して、進んで見直そうとしている。〈態度〉	・考えを伝えるために効果的な表現になっているか見直している。〈意見文〉	↓
まとめる	14	○学習したことをまとめる。	・「インターネットと学習」を読み、注意点が分かり、進んで利用しようとしている。〈態度〉	・友達の意見文を聞き、観点に沿って感想やアドバイスを述べている。〈発言・感想〉	

5 本時の指導

(1) 目標 筆者の平和に対する思いを読み取り、伝えたいことをまとめることができる。

(2) 指導にあたって

○仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって

「一人学び」で読み取らせるために「原爆ドームの呼び方の変化」や「文末表現の違い」を示す。筆者の訴えたいことをまとめとして書くことを板書で示し、見通しをもたせる。

○仮説2〈学び合い〉に関わって

「一人学び」での「～なのである」「～なのだ」や「記念碑」「世界の遺産」をもとに、筆者の思いが込められている段落が⑫と⑬のどちらかを考えさせることで「学び合い」を設定する。さらに⑬段落により強い思いがこめられている根拠を「戦争は人の心で生まれる」の叙述に着目し考えを交流する。「だから人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコ憲章を引用した筆者の強い思いを、読み確かめるための視点とする。

○仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

前時までの自己評価の中から筆者の思いをとらえている文を「つかむ」段階で紹介し、意欲を高めていく。また、達成感をもたせるために、「一人学び」で気づくことができたり、「学び合い」で自分の気づかなかったことに気づいたりして、自分の考えを深め、確かめることができたことを振り返らせ、次の学習への意欲につなげていきたい。

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動 (○発問・児童の反応)	一人	複数	全体	・留意点 評価 (評価方法)
つかむ5分	<p>1. 前時の学習を想起する。 原爆ドームが世界遺産になるまでの道のりを振り返る。</p> <p>2. 学習課題を確認する。 筆者が「原爆ドーム」を通してうったえたいことはなんだろう。</p>				<p>・意欲を高めるために今までの感想を発表させて、道のりを振り返る。</p> <p>・「うったえたいこと」とは「読者に分かってほしいこと、伝えたいこと」つまり『筆者の強い思い』とおさえる。</p>
ふかめる35分	<p>3. 課題解決の見通しをもつ。 筆者の思いが表れている部分をさがし、そこから分かる筆者の考えを読み取り、 筆者は、 原爆ドームをとおして、 とうたっている。 とまとめることを確認する。</p> <p>4. 課題解決をする。 音読し、筆者が強く訴えたい部分にサイドラインを引き、発表する。 ◎筆者の思いは⑫と⑬段落のどちらに強く表れているのでしょうか。 ・⑫段落では、文末が「なのである。」 ・⑬段落では、文末が「なのだ。」 ・⑫段落では、原爆ドームが記念碑に。 ・⑬段落では、原爆ドームが世界の遺産に。 ・⑬の段落に筆者の強い思いが書かれている。</p> <p>○「戦争は人の心の中に生まれる」とはどういうことでしょうか。 ・自分勝手な心の中に生まれる。 ・自分の欲ばかりの心の中に生まれる。 ・周りのことを考えられない心の中に生まれる。</p> <p>◎「人の心の中に平和のとりでを築く」とはどういうことでしょうか。 ・人の心の中に戦争を生み出さないためのとりでを築く。 ・原爆ドームを見ることで、人の心の中に戦争をしないという思いを起こさせることがとりでになる。</p> <p>5. 筆者の訴えたいことを自分なりにまとめる。 筆者は、「原爆ドームを通して、心の中に平和のとりでを築いてほしい」ということをうたっている。</p>	一人学び		学び合い	<p>・板書に学習の流れとまとめの形を提示して、見通しをもてるようにする。 (ノート, 表情)</p> <p>・1回目は全員で音読, 2回目は黙読して, できるだけ短く1箇所にサイドラインを引くように指示する。(教科書)</p> <p>・筆者の思いの強さを調べる手がかりとして文末表現や原爆ドームの呼び方の変化を確認する。</p> <p>・⑫段落で何の記念碑なのかを学び合いの発言の中でおさえる。</p> <p>・⑬段落に強い思いが書かれていることを確認し, ⑬段落をくわしく読み取ることを知らせる。</p> <p>・題の「平和のとりで」が出てくることから, 何から守るのか, そのとりでをどこに築くのかを考えるように助言する。(発言・表情)</p> <p>A評価 = 「筆者は、『原爆ドームを通して, 戦争や核兵器に反対する気持ちを一人ひとりの心の中に築いてほしい』ということをお話している。」 Cへの支援 = 板書の色枠の部分を使ってまとめればよいことを示唆する。 (ノート)</p>

ま と め る 5 分	6. 学習の振り返りをする。 自己評価と感想を発表する。  7. 次時の学習を確認する。			・振り返りカードを使い、観点の自己評価と感想を記入するよう指示する。〈振り返りプリント〉 ・筆者の考えをもとに自分の考えをまとめることを知らせる。
----------------------------	---	--	--	--

《自己評価の観点》

- 板書により課題解決の見通しをもてたか。
- 自分の考えを発表することができたか。
- 話し合いで友達の考えのよさを見つけたり、自分の考えをより深めたりすることができたか。

(4) 主な発問と板書計画

6年 「平和のとりでを築く」(6/14時間目)

指導者 佐々木 哲

本時の指導

(1) 目標 筆者の平和に対する思いを読み取り、伝えたいことをまとめることができる。

(2) 指導にあたって

○仮説1〈板書構成の工夫〉に関わって

「一人学び」で読み取らせるために「原爆ドームの呼び方の変化」や「文末表現の違い」を示す。筆者の訴えたいことをまとめとして書くことを板書で示し、見通しをもたせる。

○仮説2〈学び合い〉に関わって

「一人学び」での「～なのである」「～なのだ」や「記念碑」「世界の遺産」をもとに、筆者の思いが込められている段落が⑫と⑬のどちらかを考えさせることで「学び合い」を設定する。さらに⑬段落により強い思いがこめられている根拠を「戦争は人の心で生まれる」の叙述に着目し考えを交流する。「だから人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコ憲章を引用した筆者の強い思いを読み確かめるための視点とする。

○仮説3〈一人一人の評価の積み重ね〉に関わって

前時までの自己評価の中から筆者の思いをとらえている文を「つかむ」段階で紹介し、意欲を高めていく。また、達成感をもたせるために、「人学び」で気づくことができたり、「学び合い」で自分の気づかなかったことに気づいたりして、自分の考えを深め、確かめることができたことを振り返らせ、次の学習への意欲につなげていきたい。

主発問等

〈つかむ〉

○筆者の伝えたいことが分かる部分をみつけ、筆者のうったえたいことを読み取りましょう。

〈ふかめる〉

○筆者が強く訴えたい言葉にサイドラインを引きましょう。

◎⑫と⑬段落どちらに筆者の思いが強く表れているでしょう。

○「戦争は人の心の中で生まれる」とはどういうことでしょう。

◎「人の心に平和のとりでを築く」とはどんなことか。

〈まとめる〉

○学習の感想を発表しましょう。

〈板書計画〉

平和のとりでを築く

強く思っていること  
大牟田稔 ⇒

筆者が「原爆ドーム」を通してうったえたいことはなんだろう。

記念碑

警告

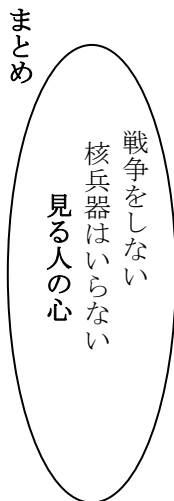
- ・ 原子爆弾の惨害
- ・ 核兵器を二度と使用してはならない
- ・ 核兵器は不必要だ

世界の遺産

戦争は人の心の中で生まれる

- ・ 自分勝手な心
- ・ 欲ばかりの心
- ・ 周りのことを考えられない心

平和のとりでを築く



筆者は、「原爆ドームを通して、心の中に平和のとりでを築いてほしい」ということをうったえている。